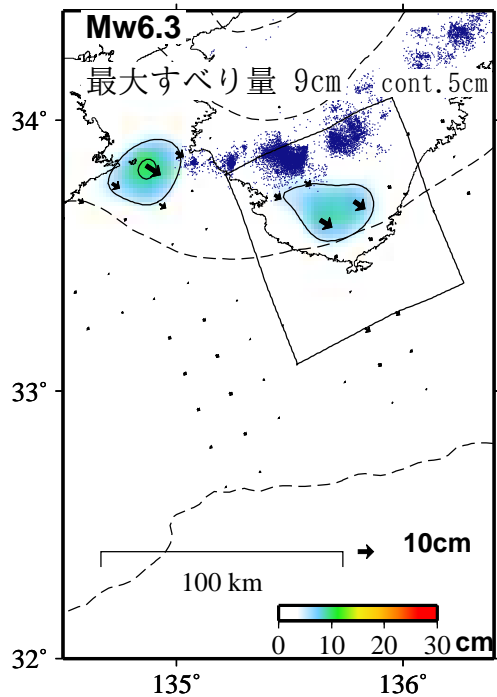
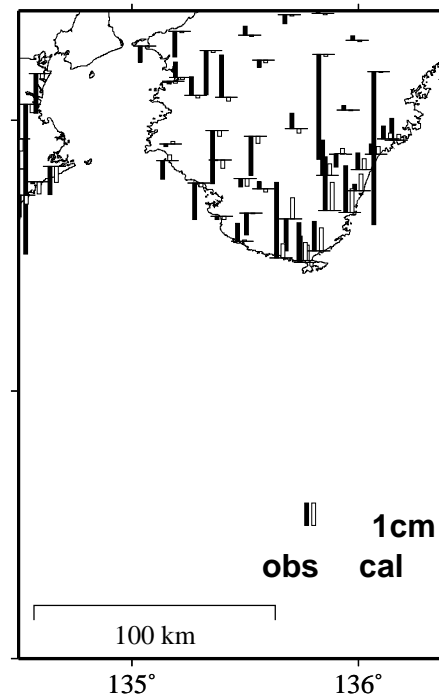
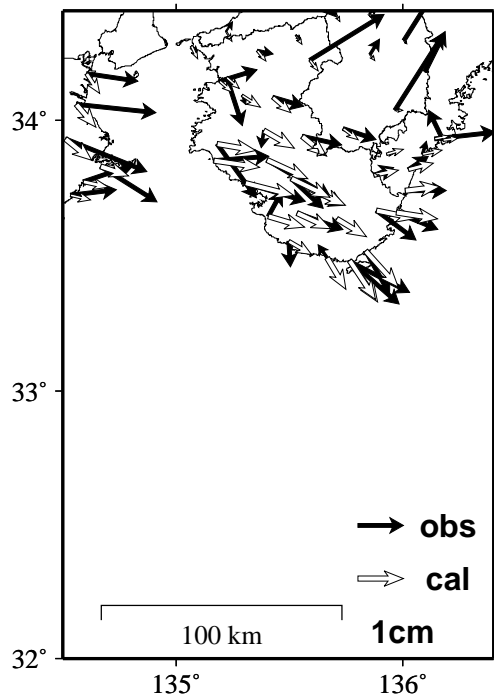


GNSSデータから推定された紀伊半島南部の長期的ゆっくりすべり（暫定）

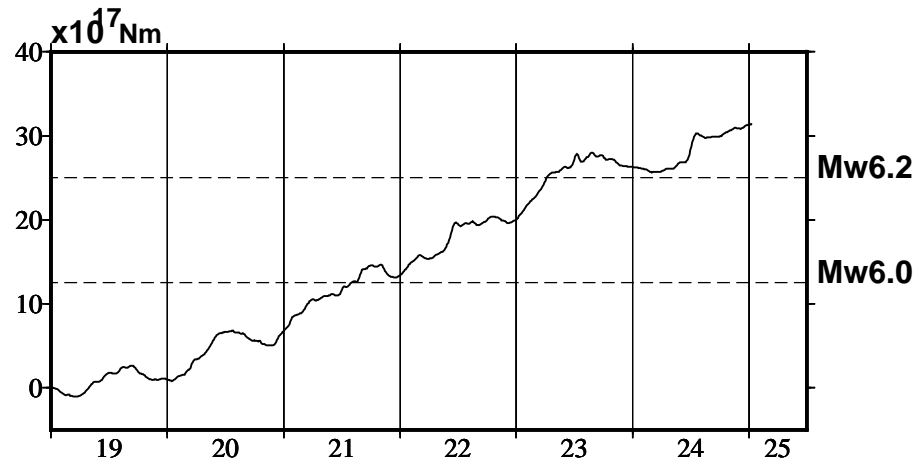
推定すべり分布
(2020-01-01/2025-01-10)



観測値（黒）と計算値（白）の比較
(2020-01-01/2025-01-10)



モーメント * 時系列



Mw及び最大すべり量はプレート面に沿って評価した値を記載。
すべり量（カラー）及びすべりベクトルは水平面に投影したものを示す。
推定したすべり量が標準偏差(σ)の3倍以上のグリッドを黒色で表示している。
使用データ: GEONETによる日々の座標値 (F5解、R5解)
F5解 (2019-01-01/2024-12-28) + R5解 (2024-12-29/2025-01-10)
トレンド期間 (四国東部・紀伊半島): 2017-01-01/2019-01-01 (年周・半年周成分は補正なし)

モーメント計算範囲: 左図の黒枠内側
観測値: 3日間の平均値をカルマンフィルターで平滑化した値
黒破線: フィリピン海プレート上面の等深線 (Hirose et al., 2008)
すべり方向: プレートの沈み込み方向に拘束
青丸: 低周波地震 (気象庁一元化震源) (期間: 2020-01-01/2025-01-10)
固定局: 三隅
* 電子基準点の保守等による変動は補正済み
* 平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震の粘弾性変形は補正している (Suito 2017)
* 気象庁カタログ(2017年以降)の短期的ゆっくりすべりを補正している。
* 共通誤差成分を推定している。
* モーメント: 断層運動のエネルギーの目安となる量。
* 令和6年能登半島地震に伴う地殻変動は補正している。